

(仮称) 東大和市学校給食センター新築工事に係る住民説明会 質問等

第1回 日時：平成27年7月2日（木）午後7時～8時20分

場所：南街市民センター 2階 202号室

第2回 日時：平成27年7月4日（土）午後2時～3時25分

場所：桜が丘市民センター 2階 集会室

※ホームページへの掲載にあたり、ご質問をまとめるとともに、より多くの方にご理解をいただくため、対応等についても加筆しております。

【交通について】

・新給食センターにおいて、車両出入り口に警告灯を設置し、歩行者等の安全確保を図るべきではないか。

⇒車両出入り口のある敷地の東側は、歩行者の安全確保のため敷地内に歩道を設置いたします。また、歩道に沿いまして、高さ55cmの化粧コンクリートブロック積みの上に、高さ80cmのアルミ製縦格子フェンスで敷地を囲み、敷地内には、主に低木を植えてまいります。したがって、車が道路に出る際は、見通しが良いことや、給食センターへの車の出入りは、食材搬入業者の車と給食配送車が主であり、特定少数であることから、歩行者等の安全確保は、警告灯の設置ではなく、日々、業者への注意喚起で対応をしていく考えです。

【臭気、給気及び排気について】

・臭気対策、防音対策について

⇒調理や洗浄のための排水は、建物の南側の地下に排水処理（除外）施設を設置し、水質を基準値以下に処理して下水道に流します。この処理の段階で臭気が考えられますが、脱臭後、建物屋上まで導き開放します。また、調理室は、窓を開けて調理することなく、屋上の中央部の高い位置から解放します。残さいにつきましては、配管を通して直接、厨芥室に送られます。

・空調の室外機ファンの向きと防音フェンスの高さの関係について

⇒空調の室外機ファンは北側に向きますが、周囲を室外機より高い2.5mの防音フェンスで囲み、騒音等に配慮しています。

・外の埃を取り込まないよう、外気との気圧差はどうなっているのか。

⇒建物内の多くの部屋の換気は、給気と排気を同時に行う1種換気であります。調理室等のエリアの給気はフィルターを通し、外気を導入しております。また、より高い衛生的な環境を保つ必要のある調理室等へは、気圧のバランスを調整して埃などが入りにくくしております。さらに、調理エリアの前にはエアシャワーを設置し、埃等を落として入室するなど衛生面を考慮しております。調理室入口にはエアカーテンにより埃や虫の侵入を防いでおり、また、給食の配送部分につきましてもドックシェルター方式により同様に防いでおります。

【その他】

・給食センターの工事費はいくらか。

⇒予算額で30億5,400万円です。

・市民広場が狭くなり、サッカーの公式面積がとれなくなった。学校の統廃合を行い、廃校となった学校用地で対応できなかったのか。

⇒建築基準法では、給食センターは工場となりますので、用途地域関係から学校がある場所では、基本的に建築できません。工業地域である市民広場の一部を使用して建築することに決めたものです。

・説明会のチラシの配布範囲について。

⇒基本設計と同じ範囲に戸別配布しています。具体的範囲は、第二小学校、第二中学校の西側、南街交番の通りから南側となり、約3千軒にポスティングをしています。

・屋上にあるハト小屋とは何か。

⇒屋上への配管用のスペースであり、雨等の侵入を防ぐものです。

・防球ネットは、今の場所から変わらないのか。また、防球ネットと建物との間の距離はどのくらいなのか。

⇒現在設置されている防球ネットの位置は、既に移設した後のため変わりません。また、防球ネットと建物の間ですが、約2m程度となります。